

## 食いしん防災コミュニティ部会がいく！

(第69回 2024年2月)



元旦から地震発生に驚いた。大きな被害を受けた能登半島とは、縁があって他人ごととは思えない。食いしん防の脳裏に、能登の思い出が走馬灯のようによみがえってくるのだった……

初めて能登半島を訪れたのは、10年前の夏。北陸新幹線が金沢につながって観光客でいっぱいにならないうちにと、家族で旅行した。



初日は富山経由で和倉温泉に泊まり、2日目はのとじま水族館、九十九湾、見附島、白米千枚田などを観光して輪島に泊まった。3日目は朝市で買い物をし、巖門、羽咋から金沢を経て帰った。小学生だった子どもたちも大喜びの旅だった。

次はそれから数年後の冬、半分仕事で訪れた。能登町の旅館に1泊した後、ユネスコ無形文化遺産にもなっている『あえのこと神事』を見学した。これについてだけでも数ページに渡って書けるほど興味深い体験だったが、割愛する(興味のある方は検索してみてください)。奥能登には古くからの貴重な伝統や文化が残っていることを知った。とても美味しい郷土食も味わった。

3度目は2年前の秋、やはり能登町を視察研修で再訪した。能登町は人口規模が湖東地区とほぼ同じ。高齢化など、同じような課題も抱えている。過疎地域の活性化を模索する『のと未来会議』に出席し、そこで知り合った地元の人たちと飲みに行き、楽しく交流した。みんなとーっても良い人たちだった。



このように10年間のうちに3回、計4泊7日を能登で過ごした。今回の地震で、2年前に訪れた酒蔵が倒壊したことを知った。能登町は、直接の死者こそ2人だったが、その後の関連死が最多の6人(1月31日現在)を数えている。平地が少なく、古い建物が多かっただけに、電気や水が断たれた避難生活の過酷さを思うと、胸が締めつけられる。

これまでの旅で知り合った方たちはみんな無事だろうか。居ても立っても居られない気持ちになるが、今は現地に赴くのを自重している。義援金など、現時点でできることをするしかないと言いつつも、歯を噛み締める。

能登は自然も人も本当にすばらしい場所。ぜひとも再訪して、知人たちの無事が確認できることを願っている。

(義援金の情報は TOPICS に！)



↑ 子どもの遊び場として作られた村



↑ ぜんぶこの2人の手づくり！



↑ 楽しかった交流会



↑ 巨大イカも生息！

## TOPICS

### ☆能登半島地震の義援金

東近江市では、支所やコミセンで義援金の受け付けをしています。集まったお金は、日本赤十字社を通して被災者へ送られます。詳しくは「義援金 東近江市」で検索してください。口座振り込みでも受け付けています。

他にも各所でさまざまな団体が募金活動を行っています。振り込みなどの中には詐欺もあると思われるので、ご注意ください。



## 今後の活動予定

2月4日（日）女性の参画による防災力向上ワークショップフォーラム

13：30～16：00 滋賀県危機管理センター（大津市）※要申込

下旬 こと防研修会 19：30～ 湖東コミセン ※詳細決まりしだい連絡

※ 出前講座の申し込み受け付けます！

## 勝手にQ&Aコーナー

Q：今回はいつになく真面目な内容じゃないですか。やればできるんですね。

A：食いしん防はいつでも真面目ですよ？ ふざけているように見えても真面目にやっているんです。『かいけつゾロリ』の原ゆたか先生も次のようにおっしゃってます。『まじめにふまじめ』これぞ、わが座右の銘なり。

Q：能登半島の美味しい料理って、何を食べたんですか？

A：あ、そこにくるか。海鮮は何を食べてもハズレなしだね。冬のぶりしゃぶは最高！白子の味噌汁も初めて食べて美味しかった。九十九湾のイカ料理もオススメだ。タレ漬けイカ丼は絶品！



ぶりしゃぶ！



白子の味噌汁！



イカ丼！

楽しい質問、お待ちしております！

(文責：こじまっちょ)

